

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請済 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】については、日本遺産申請に向けて、昨年度提出した申請内容の分析・検証を行うため、5月には県文化財課を訪問し担当者と協議した。また、6月には文化庁を訪問し、担当課職員から本町のタイトル及びストーリーについて日本遺産選定委員のコメント照会と今後のアドバイスをいただいた。歴史や文化財の活用については、5月に小山市(鷲城・祇園城)・栃木市(皆川城)の歴史めぐりを実施した。参加者は25名であった。また、「大六天の森」に案内掲示板を設置し、保存・活用を図った。「広報ましこ」にも6月号から文化財紹介の記事を掲載し、文化財への関心を高めている。アカマツ復活プロジェクトについては、その準備に向けて、益子里山の会が実施予定地の草刈りや枝打ち等を実施し整備を行った。 【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、真岡土木事務所と今年度事業についての意見交換会を開催するとともに、県道益子公園線整備について打合せ、県議会県土整備委員会現地調査説明を実施した。長堤砂防事業説明会の開催、町道6号道路改良工事の他、舗装工事を発注した。 役場周辺地区土地地区画整理事業に向け、県都市計画課、真岡土木事務所等との打合せを実施した。円道寺池、小宅古墳群整備事業の申請、整備活動への支援、県と益子の森施設整備について意見交換を行った。 【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、おもてなし補助金による各種事業支援、100回陶器市実行委員会への支援協力を実施、英国日本大使館プロモーション事業打合せ準備等を進めた。	【政策1】については、日本遺産のストーリーを検討し、毎月文化庁を訪問しアドバイスをいただくようにする。また、歴史文化基本構想推進委員会を立ち上げ、文化財の保存・活用のあり方について検討を始める。文化財の保存については、山本八幡宮屋根修理、益子参考館上台茅葺屋根修理、登り窯修理がスムーズに行えるよう支援する。歴史講座・歴史めぐりについては、年間計画を作成し計画的に実施する。ましこ検定については、第2回実行委員会を開催し、実施に向けて検討を始める。認定された「ましこ世間遺産」(上半期分)については、委託業者による動画撮影を検討し、記録・保存への準備を進める。アカマツ復活プロジェクトについては、実行委員会を組織し、イベントの開催について協議していく。 【政策2】については、益子公園線整備のため、都市計画決定や用地等、県への一層の協力を進め、早期着工を目指す。役場周辺土地地区画整理事業においても、県と綿密な打合せを実施し、事業化に向けて検討を行う。ランドスケープデザイン作成のため、研修や情報収集、専門家等との情報交換を進める。 【政策3】については、各種イベントの支援を進めるとともに、100回陶器市に向けた事業内容を決定する。英国プロモーション、台湾トップセールス事業を進める。

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請済 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2四半期	【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】については、日本遺産のストーリーを検討し、8月1日に文化庁を訪問しアドバイスをいただいた。9月5日には県文化財課を訪問し、ストーリーの再構成について協議した。また、9月28日に第1回歴史文化基本構想推進委員会を開催し、文化財の保存・活用のあり方について検討した。歴史や文化財の活用については、第2回歴史めぐりや第1回歴史講座の広報と募集を開始した。また、「広報ましこ」に身近な文化財を掲載するとともに、文化財ホームページの更新を行った。文化財の保存・環境整備については、7月11日に宇都宮家の墓所の竹の伐採を行った。風土や風景、風習の継承については、8月10日にましこ世間遺産認定審査、9月12日には世間遺産認定式を行い、11件を認定した。また、アカマツ復活プロジェクトについては、7月7日に益子小学校、7月12日に田野小学校において森林教室を実施した。8月22日には第1回アカマツ復活プロジェクト実行委員会を開催し、組織の編成と計画の策定を行った。 【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、益子公園線道路整備事業説明会が開催され、地権者の事業同意が得られた。町道6号生田目本郷線、7号生田目東田井線、45号本沼迫分線の舗装工事が実施され、7号については東田井側、45号については予定の道路整備が完了した。4号栗崎道祖土線の地権者同意が得られた。ランドスケープデザイン作成のため、先進地を視察し、情報を収集した。 【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、英国日本大使館プロモーションを実施、セントアイヴス友好5周年事業、益子焼展示の他、誘客活動2020年の100年事業に向けた活動を行った。	【政策1】については、日本遺産のストーリーを再構成し、県文化財課との協議を踏まえ、11月中に文化庁への訪問を行う。また、11月中旬に第2回歴史文化基本構想推進委員会を開催し、次年度の事業内容について検討する。歴史や文化財の活用については、10月9日に第1回歴史講座を開催する。10月12日には宇都宮市(県立博物館)・下野市(児山城)の歴史めぐりを実施する。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産のホームページ掲載について内容を検討する。また、12月1日から始まる下期分の募集については、広報等により町民への周知徹底を図る。アカマツ復活プロジェクトについては、3月に開催されるイベントに向けて、県東環境森林事務所との協議を行うとともに、益子里山の会及び七井小学校との事前打合せを10月中に実施する。また、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用し、イベント開催に向けた財源確保のための協定書の作成を進める。 【政策2】については、生田目東田井線、西浦線の道路改良工事を発注し、工事を円滑に進める。4号線の物件移転の早期実施への調整を進め、工事の早期実施を進める。県道西小埜真岡線長堤地内歩道工事の説明会が予定されているので、事業に向けての協力を図る。 役場周辺土地地区画整理事業の説明会を開催し、関係者の意見をまとめるとともに県との協議を進め、事業化の検討を図る。 【政策3】については、100回陶器市の開催、記念事業の実施により陶器市イメージの向上を図る。台湾トップセールスにより、誘客促進、販路拡大とともに、イメージアップを図る。

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請済 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】については、日本遺産のストーリーを見直し、12月14日に県文化財課との協議を行い、日本遺産申請への対応を検討した。また、11月9日には第2回歴史文化基本構想推進委員会を開催し、次年度の事業内容について協議した。歴史や文化財の活用については、10月9日に第1回歴史講座(講師:南山大学教授 濱田琢司 氏、演題「民藝の発生とブームの系譜」)を開催した。参加者は35名であった。また、10月12日には第2回歴史めぐり(宇都宮市:県立博物館、下野市:児山城)を実施した。参加者は31名であった。さらに、「広報ましこ」に身近な文化財として七井地区(10月号)、山本地区(11月号)、上大羽地区(12月号)を掲載した。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産11件(上期分)を動画撮影し記録・保存を行った。下期分については、12月1日から募集を開始した。アカマツ復活プロジェクトについては、12月8日に七井小学校6年児童61名による枝打ち体験を実施した。また、12月20日には2月21日に予定されているアカマツ復活プロジェクト「植樹イベント」の打合せを七井小学校で行った。 【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、町道栗崎・サヤド線整備の用地が確保でき、工事を発注した。役場周辺土地区画整理事業については、地権者説明会を開催するとともに、欠席者への個別説明を行い、事業内容の説明を行い、事業に向けた勉強会の開催などの意見をいただいた。 【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、平成 29 年度の地域ブランド調査魅力度ランキングが486位で、昨年度よりランクを落としたが、食品以外想起率が5位となった。台湾プロモーション、トップセールスを実施、台湾国際珈琲展に参加し好評であり、現地交流会等により関係の構築が図られた。	【政策1】については、日本遺産申請に向けて、1月18日に県文化財課と最終協議を行う。また、日本遺産の申請書類については、県文化財課への最終提出は1月25日、文化庁へは2月1日となっており、早急に準備を進める。歴史や文化財の活用については、1月13日の第2回歴史講座(講師:上三川高等学校長 松本一夫 氏、演題「中世武士の勤務評定」)及び2月10日の第3回歴史講座(講師:日本考古学協会 秋元陽光 氏、演題「ましこ焼は埴輪から?」)に向けて準備を行う。風土や風景、風習の継承については、ましこ世間遺産下期分の募集が1月31日までとなっており、上期分同様に広報で周知徹底を図る。アカマツ復活プロジェクトについては、2月21日に「植樹イベント」を予定しており、とちぎの元気な森県民税事業の活用のため、県東環境森林事務所と綿密に協議する。また、関係団体や七井小学校との事前打合せを計画的に行う。 【政策2】については、町道栗崎・サヤド線の整備完了に向けて、関係機関との調整を行い工事を進め、円滑な交通の早期確保を図る。役場周辺土地区画整理事業については、地権者等に事業への理解を深めてもらうため、先進地の視察を実施するとともに、勉強会開催のための準備を進め、関係者の合意形成を図る。 【政策3】益子＝益子焼のイメージは確立しており、町の魅力度アップには益子焼の魅力向上も合わせ検討が必要。 海外プロモーション、トップセールスによる関係構築から、現地協力者によるイメージ向上との販売ルートの確保、誘客促進を進める。

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度 目標値	登録	現状値	申請済 (H30.5 登録外)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
本年度総括 (第4 四半期分も含む)	【政策1 歴史や文化財、風土の活用と継承】については、指標1「ましこ検定の受検者数」は22人であり、目標値60人に達しなかった。指標2「ましこ世間遺産認定数」は20件であり、目標値20件に達した。施策1の主な事業として、歴史文化基本構想推進委員会の開催(年2回)、日本遺産の申請、第2回ましこ検定の実施、歴史講座の開催(年5回)、文化財探検隊の実施(年1回)、文化財防火訓練の実施、山本八幡宮の屋根修理、益子参考館上台の茅葺屋根修理、大六天の森の案内看板設置、宇都宮家墓所内の竹の伐採を行った。施策1の進捗状況は100%である。施策2の主な事業として、ましこ世間遺産認定(20件)及び動画撮影(町ホームページ上で公開)、アカマツ復活プロジェクトのイベント(七井小5年生参加)を実施した。施策2の進捗状況は100%である。 【政策2 次世代につなぐ基盤整備】については、ランドスケープデザイン作成のための資料収集及び事業内容、スケジュールを作成した。栗崎・サヤド線工事は、支障物件の移転が遅れ、完成が次年度に延びたが、完成の目途が立ち、安全性と、円滑な交通を確保できるようになった。役場周辺土地区画整理事業においては、地権者による先進地視察を行い、事業の理解と合意形成を図った。また、都市計画道路に関する交通量調査を実施し、今後の在り方に関する調査内容とスケジュールを作成した。 【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】については、「益子の雛めぐり」などイベントの開催を通して、益子の魅力好感度向上を図る支援をした。	【政策1】については、次年度の指標1の目標値は80人である。小・中・高校生についても受検を積極的に働きかける。指標2については、目標値30件に到達できるよう広報周知の徹底を図る。施策1の主な事業として、日本遺産の申請、歴史文化基本構想推進委員会の開催(年2回)、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催(年2回)、第3回ましこ検定の実施、歴史講座の開催(年5回)、文化財探検隊の実施(年1回)、文化財防火訓練を実施する。施策2の主な事業として、地域の祭りや風習の記録・保存、ましこ世間遺産の認定、アカマツ復活プロジェクトのイベント(益子小児童参加予定)を実施する。 【政策2】については、ランドスケープデザイン作成業務は現状の把握、解析等を行い、31年度完成に向けて作業を進める。橋梁の改修、架け替え工事を進め、安全性を確保する。役場周辺地区は、勉強会、説明会を開催し、合意形成を目指すとともに、都市計画道路の見直し作業手続きを進める。 円道寺池、小宅古墳群等地域資産については、地域の協力により整備を進める。サイクリングマップやサイクリングツアーの実施により、周遊ルートづくりを進める。 【政策3】土祭などのイベントの情報を、より効果的に時機を捉えて発信し、イベントの内容を充実させ、参加者満足度を上げることによりイメージの向上を図る。県外イベントやメディアをさらに活用し、益子町に対する認知度の低い地域へのアプローチを図る。

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	60人	現状値	22人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③代表者との面会 ③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	5月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場における竹林の測量	
	6月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との活動方針の打合せ	
	7月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③亀岡八幡宮里山の会代表者との侵入竹林実施箇所の打合せ	
	8月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との次年度の活動方針の打合せ	
	9月			③亀岡八幡宮里山の会今年度実施箇所の整備開始	
	10月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③多面的事業中間検査における指摘事項への対応（図面作成支援）	
	11月			③亀岡八幡宮里山の会の活動状況（現地）確認	
	12月			③多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援	
	1月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査	
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	③亀岡八幡宮里山の会については、現地確認や活動状況報告から、特に古墳周辺が年々整備がされていることを確認している。古墳群という歴史的な遺産だけでなく、春には満開に咲き誇る様々な桜や、約3haの地面いっぱいに咲く菜の花を見物しに県内外より多くのお客様にお越しいただいている場所なので、今後も整備を続けて行くためには活動組織との親密な関係の形成が不可欠である。	③亀岡八幡宮里山の会の活動区域でのとちぎの元気な森づくり県民税事業および森林山村多面的機能発揮対策事業を活用し整備をすることもあるので関係事務所への事業内容等の報告、連絡調整をする。また事業を実施するにあたり地元の合意形成が必要となるため事業費や事業内容について、地元との意見交換をしていく。
第2四半期	③亀岡八幡宮里山会による景観対策のための小宅地区の3.7haの整備に向けて地元の合意形成が図られた。今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。	③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について適切な管理ができるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等協力をしていく。
第3四半期	③小宅地区の3.7haの多面的事業及び侵入竹対策事業の作業完了。今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。	③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について作業完了確認し、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等をしていく。
第4四半期	③小宅馬場山地区について今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。	③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について観光客も増えてきており、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所及びみどり推進機構と連携を図りつつ、必要に応じて助言等をしていくことが重要である。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上 半 期	第 1 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	小宅古墳群整備に関しては生涯学習課との連携を図りつつ事業を進める。
	第 2 四 半 期		
総 括 （ 下 半 期 も 含 む ）	第 3 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	小宅古墳群整備に関しては花の時期には特に観光客が訪れていただけるようになったので観光商工課・生涯学習課との連携を図りつつさらに事業を進めていく。
	総 括 （ 第 4 四 半 期 も 含 む ）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	60人	現状値	22人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	②第1回実行委員会の開催（昨年度の反省）		②第1回実行委員会の開催。（4/13、第1回ましこ検定の反省について）	
	5月				
	6月				
	7月	②第2回実行委員会の開催（実施に向けての検討）			
	8月			②第2回実行委員会の開催。（8/10、第2回ましこ検定の日程検討について）	
	9月			②第3回実行委員会の開催。9/12。	
	10月	②第3回実行委員会の開催について（実施に向けての検討）			
	11月			②ましこ検定実施に向けチラシの校正。	
	12月				
	1月	②第4回実行委員会の開始。ましこ検定の実施。			
	2月			③ましこ検定 2/24実施 参加22名	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②ましこ検定の受験者が少なかったため、広報活動への工夫。	②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討。
第2四半期	②ましこ検定の受験者増に向け、広報活動の研究。	②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討。
第3四半期	②新聞折り込み等での周知活動。	②受験しやすい環境づくりに努める。
第4四半期	②新聞等で検定の周知は図ったが、ましこ検定受験者数が増えなかったことが課題。	②更なるPRに努め、受験しやすい環境づくりを検討する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4四半期も含む）		

課局名		学校教育課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	60人	現状値	22人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月	④社会科副読本編集委員会（小・中）の開催。町副読本「わたしたちの益子町」「のびゆく益子」の作成	④4/10 各小中学校へ社会科副読本編集委員会の推薦を依頼 ④4/10 各小中学校へ社会科副読本編集委員会の日程調整を依頼		
	5月		④5/19 各小中学校へ第1回小学校社会科副読本編集委員会の開催通知送付 ④5/23 小学校社会科副読本編集委員会を開催 ④5/30 中学校社会科副読本編集委員会を開催		
	6月				
	7月	④社会科副読本編集委員会（小・中）の開催。	④7/26 各小学校へ第2回小学校社会科副読本編集委員会の開催通知送付		
	8月		④8/4 第2回小学校社会科副読本編集委員会を開催 ④8/17 各小学校へ第3回小学校社会科副読本編集委員会の開催通知送付 ④8/17 各中学校へ第2回小学校社会科副読本編集委員会の開催通知送付 ④8/29 第3回小学校社会科副読本編集委員会を開催		
	9月		④9/14 第2回中学校社会科副読本編集委員会を開催		
	10月	④社会科副読本編集委員会（小・中）の開催 ④小中学校社会科副読本 入稿 ④小学校社会科副読本のテストを作成	④10/12 日光東照宮に写真の借用・掲載許可を依頼 ④10/31 第3回中学校社会科副読本編集委員会を開催、小・中原稿締切		
	11月				
	12月		④12/6 中学校社会科副読本初稿入稿 ④12/18 小学校社会科副読本のテスト原稿締切 ④12/21 中学校社会科副読本初校到着、各委員に校正依頼		
	1月	④小学校社会科副読本のテストを印刷 ④小中学校社会科副読本 入稿 ④社会科副読本を印刷・配布	④1/5 小学校社会科副読本のテスト印刷・配付		
	2月		④小・中学校社会科副読本入稿（小・中各2回）		
	3月		④3/19 小・中学校社会科副読本納品 ④3/23~30 中学校社会科副読本の販売について、生涯学習課と調整		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	④5月に、小学校と中学校の第1回社会科副読本編集委員会を開催。今年度の担当ページや編集の方向性を確認する等、共通理解ができた。	④担当ページの編集・改訂を本格的に進める。小学校では、テストの作成を進める。また、学校での積極的な副読本活用を啓発する。
第2 四半期	④8月と9月に、小学校と中学校の社会科副読本編集委員会を開催。各編集委員に副読本の改善すべき点を挙げてもらい、具体的に文章や資料の検討を行った。また、印刷会社が確定した。小学校で行うテストについては学校現場の意見をふまえカラーで印刷することとし、白黒印刷での図の識別のしにくさ、汗ばんだ手でインクが取れる等の課題の改善が期待される。	④社会科副読本について、小学校・中学校ともに10月末に原稿の締切、11月に初校を予定。今後、編集委員会・事務局・印刷会社が連携して編集する。また、中学校社会科副読本については「ましこ検定」の参考書として一般販売分を約120冊確保する計画で、販売については公民館での委託販売を検討している。販売の詳細については今後具体的に詰めていく。
第3 四半期	④小学校社会科副読本のテストをカラーで作成した。問題の内容や回答、図の修正、レイアウトの統一等を行い、昨年よりも見やすく使いやすいテストが作成できたと考える。 小学校社会科副読本の入稿が遅れている。 中学校社会科副読本の初稿を入稿、印刷会社からの原稿の校正を各委員に依頼した。	④小学校社会科副読本の進捗が遅れている。原稿の不足や不備がないか確認し、3月末の印刷に間に合うよう編集を続ける。 中学校社会科副読本については販売準備とともに、周知方法についても検討する。
第4 四半期	④小学校社会科副読本では、データやグラフ、写真を可能な限り最新のものに変更、また内容の精査とともにレイアウトの統一や言い回し等の見直しを行った。 中学校社会科副読本の価格や販売方法について生涯学習課と話し合い、価格や販売場所、事務手続き等について調整した。	④編集作業について、入稿するたびに新しい箇所の訂正が複数あったため時間がかかってしまった。社会科副読本編集委員会の編集委員だけでなく、事務局である学校教育課内でも早い段階で内容について検討し、初稿で可能な限り完全な訂正を行えるようにしたい。小学校社会科副読本については、平成30年度から2か年度かけて新学習指導要領に合わせた内容に編集する。大幅な改訂が想定されるため、今年度の反省を踏まえ、段取りの良い編集作業を行いたい。 中学校社会科副読本について、平成30・31年度は改訂年度ではないため編集委員会は開催しない。販売については平成30年度からを予定している。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上 半 期	第1 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	小学校社会科副読本については、次期学習指導要領に沿った内容にするため、平成30年度から2か年度かけて改定を行う。次期指導要領に合わせることで授業で使いやすいよう改訂し、引き続き授業での活用を促したい。 中学校社会科副読本については、「ましこ検定」の参考書として一般販売をする。販売準備とともに周知方法についても検討し、中学生だけでなく広く一般の方々にも、益子の歴史について分かりやすく学ぶことのできる教材を提供したい。
	第2 四 半 期		
総 括 （ 下 半 期 も 含 む ）	第3 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 中学校の社会科副読本は、本町の歴史を学ぶ上でとても参考になる。改訂版を手にするのが楽しみである。	中学校社会科副読本については、有償で販売する。ただし、ましこ検定受験者については参考書として無償配布する予定。 生涯学習課の事業であるため、次年度のシートは記入しない。
	総 括 （ 第 4 四 半 期 も 含 む ）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	60人	現状値	22人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①日本遺産申請に向けての取り組み（文化庁訪問） ②第1回実行委員会の開催（昨年度の反省） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史めぐりの開催・年間を通じた広報活動の実施（ましこ広報への掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請の結果発表（4/28 落選） ②第1回実行委員会の開催（4/13 10名、第1回ましこ検定の反省について） ③山本八幡宮屋根修理・益子参考館上台茅葺屋根修理費補助金の交付決定済 ④大六天の森案内看板設置 ⑤文化財HP更新（3件）	
	5月			」	
	6月			①文化庁を訪問（6/14 4名 審査委員のコメントや今後の取り組みについてアドバイスをいただく。） ③益子参考館上台茅葺屋根修理費補助金額の確定済、登り窯修理費補助金の交付決定済 ④ましこ広報6月号から文化財の紹介記事を掲載（生田目地区の紹介）、文化財HPの更新（2件）	
	7月			①日本遺産申請に伴う観光課との打ち合わせを実施（7/5、6名、7/26、5名） ③宇都宮家の墓所の覆いかぶさった竹の伐採（7/11、3名） ④ましこ広報に身近な文化財を掲載（大字益子地区）、文化財HPの更新（2件）	
	8月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問）・歴史文化基本構想推進委員会の立ち上げ、第1回実行委員会の開催 ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・歴史めぐりの開催・ましこ広報への掲載		①文化庁訪問（8/1、3名 ストーリーについて）観光課との打ち合わせ（8/8、5名、8/30、6名）文化財課との打ち合わせ（8/16、5名） ②内部打ち合わせ（8/8、5名）、第2回実行委員会（8/10募集チラシの検討12名） ④ましこ広報に身近な文化財を掲載（上山）、文化財HPの更新（2件）	
	9月			①日本遺産申請の県文化財課との打ち合わせ（9/5 2名）、内部打合せ（9/7）・第1回歴史文化基本構想推進委員会の開催（9/28 15名） ②第3回実行委員会開催（9/12 10名）・認定証の交付式の開催（9/16） ④第2回歴史めぐり、第1回歴史講座の内容を徹底し広報と募集を開始	
	10月			②ましこ世間遺産を広報で周知 ④第1回歴史講座（講師濱田琢司 10/9 35名）、第2回歴史めぐり（10/12 31名） ましこ広報に身近な文化財を掲載（七井）、文化財HPの更新（1件）	
	11月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリーづくり、文化庁訪問）・歴史文化基本構想推進委員会第2回実行委員会の開催 ②第3回実行委員会の開催（出題問題の検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座の実施・ましこ広報への掲載		①歴史文化基本構想推進委員会の開催（11/9 15名）、文化庁補助金要望書の提出（11/20） ②ましこ検定チラシ、問題等の修正をし、チラシの印刷依頼を済ませた。世間遺産下期分の募集案内を町広報誌に掲載依頼（12月号） ③山本八幡宮の屋根修理補助金の支払い完了 ④ましこ広報に身近な文化財を掲載（山本）、文化財HP更新（2件）	
	12月			①県文化財課へ日本遺産打合せ（12/14） ②校長会で検定の周知依頼済（12/1）、ましこ検定チラシの校正 ③文化財防火訓練の詳細を決定 ④ましこ広報に身近な文化財を掲載（上大羽）、文化財HPの更新（1件） 歴史講座第2回、3回の日程決定	
	1月			①県文化財課へ日本遺産打合せ（1/10） ②ましこ検定の受検者募集記事を広報とお知らせ版に掲載。チラシは自治会回覧で周知を図った。（1/31）・校長会で検定のPRをする ③文化財防火訓練の実施（1/21、7か所） ④第2回歴史講座の実施（講師松本一夫氏 1/13 31名）・ましこ広報に身近な文化財を掲載（東田井）	
	2月	①日本遺産申請の提出（1月末頃の予定） ②第4回実行委員会の開催、ましこ検定の実施 ③文化財防火訓練の実施（1/21実施予定） ④歴史講座の開催・ましこ広報への掲載		①公民館資料展示室にて特別展の開催（2/25～3/11）・下野新聞掲載（2/25）・朝日新聞掲載（3/4） ②受検者募集2/1～2/17・真岡新聞に掲載（2/2）・検定実施（2/24、申込者24人、欠席2名、合格者20名） ④第3回歴史講座の実施（講師秋元陽光氏 2/10 37名）・ましこ広報に身近な文化財を掲載（大沢）・文化財HP更新（1件）	
	3月			①公民館資料展示室にて特別展の開催（3/11まで） ②広報ましこ4月号に検定合格者等の記事を掲載 ④第4回歴史講座・北中地区文化財探検隊（3/10 26名）・ましこ広報に歴史講座や特別展の案内を掲載・第5回歴史講座（講師井上政氏 3/25 68名）・文化財HP更新（1件）	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①日本遺産のストーリー作りを検討し、毎月文化庁を訪問できるようにする。 ②予想以上にましこ検定受験者が少なかったため、広報活動に工夫が必要。実行委員会の反省事項は、学生の受験者が少なかったので学校への働きかけや昨年度の問題の提示などを行い、検定問題への不安を取り除くことなどがあげられた。 ③文化財修理費補助金の交付決定者と連絡を密にとり、改修工事がスムーズに行えるようにバックアップをしていく。 ④歴史講座のメニューを決定し、実施に向けて計画をたてていく。	①日本遺産のストーリー作りを検討し、毎月文化庁を訪問できるようにする。 ②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討を行う。 ③文化財所有者との連絡を密にする。 ④歴史講座のメニューを決定し、実施に向けて計画をたてていく。
第2四半期	①歴史文化基本構想推進委員会の委員のみなさまの意見を参考に、次年度からの事業内容を検討する。日本遺産のストーリーについて再構成が必要。 ②ましこ検定受験者増に向けて、わかりやすい広報に努める。 ③引き続き興味を引くような、文化財関係の講座や広報に努めていく。	①歴史文化基本構想推進委員会の各地区の代表のみなさんに、次年度から取り組みたい案件を検討いただいているので、当初予算にどのくらい取り込めるか検討する。効率よく日本遺産のストーリーの検討。 ②ましこ検定が気軽に受けられるものであることが伝わるようなチラシ作りに努める。 ③ニーズのある内容を把握し、歴史講座を開催できるように努める。
第3四半期	①日本遺産申請に向けての最終調整を迅速に行う。 ②新聞等での掲載を依頼し、町内外に向けて検定のあることを周知徹底する。 ③文化財の老朽化が著しいため、所有者との連携を密にし修理の時期、順番等について検討をしなければならない。 ④町民の興味を掻き立てられるような、講座や講師の選定が必要。	①日本遺産申請に向けての最終調整を迅速に行う。 ②気軽に受験できることを前面に出した広報に努める。 ③文化財所有者との連絡を密にする。 ④歴史講座、文化財探検隊の円滑の実施に努める。
第4四半期	①歴史文化基本構想推進のため、公民館資料展示室での特別展を開催したところ、たくさんの方が来館し盛況だった。 ②新聞等で検定の周知は図ったつもりではあるが、ましこ検定受験者数が増えなかったことが課題。 ③文化財防火訓練を消防関係者、文化財関係者、教育委員、地元の方等と連携して開催することができた。 ④北中地区の文化財探検隊では、子供から高齢者の方まで幅広い年齢層の方が集まり開催することができた。地元の方も改めて地域の文化財を見直すきっかけになったように感じた。 ④第5回歴史講座もたくさんの参加があり、引き続き町民の方の興味ある講座を開催していけるよう、検討が必要。	①歴史文化基本構想推進に向けて、推進委員会の委員の意見をいただきながら、新たな企画等について検討していく。 ②4月に実施する実行委員会で2回目の結果を報告し、課題について洗い出しを行い、問題点について検討する。 ④町民の方の興味を持てる講座の企画をする。また、29年度は開催時期が年度末まで延びてしまったので、年間の講座スケジュールを早めに計画し、広報活動をしていけるようにする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②校長会の時に検定の周知依頼をしたので、チラシが出来上がり次第学校に掲示してもらったり、置いてもらったりする予定。実行委員会は、3課（生涯学習、企画、商工観光）で出席。連絡を密にし、共通理解を図っている。
	第2四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	日本遺産登録に向けて、ストーリーを再度検討し、内容によっては共同で申請することも視野に入れて取り組んでいく。 ましこ検定については、一般の受検者のみならず、ふるさと学習の一環として活用できるように、中学生に対しても気軽に受検してもらえるよう学校での開催も視野に入れる。また、問題についても誤解されてしまうような出題はしないようにし、中級編や上級編の作成を検討していく。 文化財保存事業補助金については、管理、修理その他保存に必要な事業が補助対象になっているため、今度も同様な事例があれば補助していく。 年5回の歴史講座や年2回の歴史めぐり、文化財の一般公開等を通して、郷土への興味・関心をもつ人が増加していると思われる。今後も益子の良いところをPRできるよう様々な取り組みを行っていききたい。
	総括（第4四半期も含む）	ましこ検定について、第2回では受検者数が減少していることから、第3回実施後、PDCAの観点から改善若しくは見直しをすべきである。なお、第2回の問題内容は適切であったと考えるが、第1回の内容には違和感を覚える設問があった。 文化財環境整備費補助金について、29年度に山車格納庫が該当できる旨の解釈となり、使途が増えたことについては評価したい。これを機に、町内文化財の保存・継承に対する機運が広がることを期待する。 様々な企画・取組のおかげで郷土への興味・関心を持つ人が増えてきていると推測する。	

		課局名	総務課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	20件	現状値	20件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③動画撮影業者の選定、打ち合わせ	
	5月	③動画については、認定された「ましこ世間遺産」を中心に記録・保存するための準備をすすめる。写真については、随時記録・保存を継続する。		③動画撮影業者との契約、撮影内容の確認（ましこ世間遺産撮影予定）	
	6月			③広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	7月			③広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	8月	③動画については、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存する。写真については、随時記録・保存を継続する。		③広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	9月			③動画撮影業者と撮影時期の打合せ（ましこ世間遺産 11月撮影開始予定） 広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	10月			③広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	11月	③動画については、記録・保存した「ましこ世間遺産」を町内外へ発信するための準備をする。写真については、随時記録・保存を継続する。		③動画撮影業者による撮影の実施（ましこ世間遺産 11件） 広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	12月			③業者編集動画の映像確認（ましこ世間遺産 11件） 広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	1月			③ましこ世間遺産（11件）の動画をホームページで公開 広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	2月	③動画については、記録・保存した「ましこ世間遺産」を町内外へ発信する。写真については、随時記録・保存を継続する。		③広報係職員による町内行事等の写真の充実	
	3月			③広報係職員による町内行事等の写真の充実	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	これまで地域の祭りや風習の記録はほとんど写真であり、動画が少ない。写真による記録・保存はこれまで同様、継続していくが、動画による記録・保存も進めていく。	ましこ世間遺産認定制度で認定されたもの(上期分)について、業者への委託により動画を撮影し、記録・保存するとともにホームページで町内外へ発信する。
第2四半期	地域で愛され将来にわたり守り伝えていきたい風土、風景、風習、食文化などを、ましこ世間遺産として11件認定された。認定されたものを記録保存しPRしていく。	認定されたましこ世間遺産11件を順次、記録、保存し、町内外へ発信し、益子の魅力を伝える。
第3四半期	11件のましこ世間遺産を撮影し、益子の良さを紹介できるものができたので、今後も、認定される世間遺産を順次、記録保存しPRしていく。	動画により、ましこ世間遺産11件を町内外へ発信し、益子の魅力を伝える。
第4四半期	ましこ世間遺産の動画を、ホームページ上で公開することができた。動画で撮影できないものなど検討していきたい。	3月に9件の世間遺産が認定された。順次、追加、充実させ、益子の魅力を町内外に伝えていきたい。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	担当課と打合せ、認定された ましこ世間遺産（11件）全て委託業者により動画で記録した。今後も、担当課と連携を図り、認定されたものを順次記録し、町内外に発信していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ましこ世間遺産の動画発信により、魅力度が上がると推測する。	平成29年度中に、さらに9件のましこ世間遺産が認定された。担当課と連携を図り、順次 記録・発信し、町内外に益子の魅力を伝えていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	20件	現状値	20件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた元気な森づくり県民税事業活用等に関する県東環境森林事務所との意見交換		
	5月		②アカマツ復活プロジェクト実行委員会設立について県東環境森林事務所との打合せ ②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所及び益子里山の会と現地打合せ		
	6月		②アカマツ復活プロジェクト実施予定地整備を益子里山の会で実施		
	7月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクト実行委員会の第一回開催について県東環境森林事務所環境企画課と打ち合わせ		
	8月		②アカマツ復活プロジェクト実行委員会の第一回会議を開催し、会長、副会長、監事の三役及び、計画の承認を得る		
	9月		②アカマツ復活プロジェクト実施に際して益子の森使用のための協定書を県東環境森林事務所、実行委員会、町の三者で作成するよう連絡調整を行った		
	10月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施（間伐枝打ち体験等）	②益子の森使用のための協定書を県東環境森林事務所、実行委員会、町の三者で締結		
	11月		②枝打ち体験の打合せを七井小学校で実施（七井小、県東環境森林事務所、益子里山の会、環境課）		
	12月		②七井小学校6年生児童による枝打ち体験を実施 ②植樹イベントの打合せを役場で実施（県東環境森林事務所、環境課） ②植樹イベントの打合せを七井小学校で実施（七井小、県東環境森林事務所、益子里山の会、環境課）		
	1月	②アカマツ復活プロジェクトイベント実施（植樹等）	②植樹式のための地拵え		
	2月		②植樹式のための地拵え ②添え木作成 ②植樹箇所のマーキング ②植樹式の開催		
	3月		②県東環境森林事務所担当との事業完了の確認検査		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②アカマツ復活プロジェクトについては町内小学生による間伐枝打ち体験を秋に、春先には植樹を計画している。実施に向けて実行委員会組織を設立するわけだが、会員の参加しやすい体制にすることが必要である。また、とちぎの元気な森県民税事業等を活用し、植栽イベント時にサクラも植栽する予定である。	②アカマツ復活プロジェクト実行委員会を組織しイベントを開催について協議をしていく。実行委員会には益子里山の会以外にも将来を見据え益子焼関係団体、教育委員会を予定している。
第2四半期	②アカマツ復活プロジェクトについては今年度のイベントが開催できるよう県東環境森林事務所及び益子里山の会と打合せや現地確認を実施し、実行委員会を立ち上げた。また、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用し、イベント実施のための財源の確保のため協定書作成を進めた。	②アカマツ復活プロジェクトについてはイベントが開催に向け、開催日時、開催内容等県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また益子里山の会や七井小学校と事前打合せを実施して行く。
第3四半期	②アカマツ復活プロジェクトについては、県、益子里山の会および七井小と協議を重ね、とちぎの元気な森県民税事業等を活用し、益子の森にて七井小学校6年生による枝打ち体験を実施した。ほとんどの児童が初体験のようで記憶に残る体験であったと思われる。第4四半期のイベントについても県、益子里山の会および七井小と開催時期、開催内容、事業費充当について協議をした。	②アカマツ復活プロジェクトについては第4四半期に植樹体験を予定しているので、とちぎの元気な森県民税事業活用のため県東環境森林事務所と協議をする。また関係団体や七井小学校などに対しても、事前打合せを重ねていく。今年度初の事業であり詳細に関係団体と協議していきたい。
第4四半期	②アカマツ復活プロジェクトについては平成30年3月のイベント開催に向けて県及び益子里山の会と連携を図った。参加団体の会員の参加しやすい体制にすることを重要課題とした。また、とちぎの元気な森県民税事業等を活用し、アカマツ植栽イベント時にサクラも植栽した。	②アカマツ復活プロジェクトについてはイベントを開催するに当たって、開催時期、開催内容、事業費の充当について、とちぎの元気な森県民税事業など活用し県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また活動団体や小学校などに対して、参加に向けた事前打合せを実施して行く。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮をして今年度より事業に取り組んでいく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 アカマツ復活プロジェクトに関連し、小学生によるアカマツ植樹は一般の町民が目にするのではないため、駅や今後整備を予定している役場周辺整備事業・図書館等に町木：アカマツのほか、町花：やまゆりをシンボリックに植えるなど、町民が普段目にする場所への植樹なども今後検討されたい。	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮をして30年度も事業に取り組んでいく。30年度は活動内容の周知を行うとともに活動の幅をどのように広げていくかの検討もしていく。
	総括（第4四半期も含む）	アカマツ復興プロジェクトについて、順調に推進されている。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	20件	現状値	20件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①第1回実行委員会の開催（実施要領の決定）		①第1回実行委員会の開催。（4/13、10名、実施要領の決定）	
	5月				
	6月				
	7月	①第2回実行委員会の開催（上期分審査会の開催）			
	8月			②第2回実行委員会の開催。（8/10、第2回ましこ検定の日程検討について）	
	9月			②第3回実行委員会の開催。9/12。	
	10月	①第3回実行委員会の開催			
	11月			②ましこ検定実施に向けチラシの校正。	
	12月				
	1月	①第4回実行委員会の開催（下期分審査会の開催）			
	2月			①世間遺産審査会の実施。2/15 ①世間遺産認定式。認定20件。2/24	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①他課の補助金とのすみ分けを整理する。	①世間遺産認定証の様式について検討。
第2四半期	②ましこ検定の受験者増に向け、広報活動の研究。	②ましこ検定の新しい問題の検討と広報活動の検討。
第3四半期	②新聞折り込み等での周知活動。	②受験しやすい環境づくりに努める。
第4四半期	①指標とする、ましこ世間遺産認定数を達成することが出来た。	①ましこ世間遺産の申請についてPRを継続的に実施する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	

基本目標		課局名	学校教育課		
地域資産を蓄積する		政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	20件	現状値	20件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月				
	5月	②コンクール・作品展等の実施について、各小中学校へ周知する。		②5/9 平成29年度栃木県学校関係緑化コンクールの実施について周知。	
	6月			②6/2 平成29年度栃木県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクールの実施について周知。	
	7月	②コンクール・作品展等の実施について、各小中学校へ周知する。 ②田野小 益子小 森林教室に参加予定。		②7/4 平成29年度木の教育資材提供事業の実施について周知 ②7/4 平成29年度3R促進ポスターコンクールの実施について周知 ②7/11 平成29年度山火事防止ポスター用原画及び評語の募集周知 ②7/19 第10回エコポエムの募集について周知 ②7/7 森林教室実施予定(益子小) 7/12 森林教室実施予定(田野小) ②7/31 平成29年度木の教育資材提供事業の教材配布決定の通知	
	8月			②8/8 平成29年度栃木県学校関係緑化コンクールの結果通知到着。	
	9月				
	10月				
	11月	②環境関連の事業等について、各小中学校へ周知する。			
	12月			②12/19 森林環境教育・森林ESDに関するセミナーの開催通知受付	
	1月				
	2月	②緑化等に関する事業について、各小中学校へ周知する。		②2/5 平成30年度学校環境緑化モデル事業の実施について通知受付 ②2/7 平成30年度ふるさととちぎみどりづくり事業に係る要望調査通知受付 ②2/19 山火事予防ポスターを各校へ配付	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②栃木県学校関係緑化コンクール、栃木県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクールの周知を行った。環境保全に係る取り組みについて学校や児童生徒に周知することができた。	②さまざまなコンクール等の募集案内を精選し、適宜に学校等へ周知する。 ②アカマツ復活プロジェクトについて、環境課と連携し、実施内容について各学校へ周知する。
第2四半期	②3R促進ポスターコンクール、山火事防止ポスター用原画及び評語、エコポエムの募集の周知を行った。環境保全に係る取り組みについて学校や児童生徒に周知することができた。 ②木の教育資料提供事業について周知ととりまとめを行い、希望のあった田野小・益子小・益子西小に教材を配布した。児童に工作を通して木のよさや森作りの大切さ等について学ぶ機会を提供できた。 ②森林教室について、7月に県東環境森林事務所・土木事務所を講師に迎え山地防災講習会が開催された(益子小学校、田野小学校)。土砂災害や、山地防災に関わる森林の働きについて、模型や映像を教材に学習した。	②さまざまなコンクール等の募集案内を精選し、適宜に学校等へ周知する。
第3四半期	②森林環境教育に関するセミナーの通知を受け付けた。このセミナーは主催者から学校へ別途通知しているため周知は行わなかった。	②さまざまなコンクール等の募集案内を精選し、適宜に学校等へ周知する。
第4四半期	②環境緑化モデル事業の実施についての通知、ふるさととちぎみどりづくり事業に係る要望調査の通知を受け付けた。この事業は主催者から学校へ別途通知しているため周知は行わなかった。	②さまざまなコンクール等の募集案内を精選し、適宜に学校等へ周知する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	コンクール等の募集案内については、引き続き精査・周知し、環境保全に係る取り組みについて学校や児童生徒に周知したい。 森林教室（山地防災講習会）については、次年度も学校へ参加を促し、土砂災害や山地防災について学ぶ機会を児童生徒に提供したい。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	生涯学習課の事業であるため、次年度のシートは記入しない。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	20件	現状値	20件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			①第1回実行委員会の開催（4/13 10名、実施要領の決定）・環境整備費補助金交付要綱の制定（4/26）	
	5月	①第1回実行委員会の開催（実施要領の決定）上期申請受付期間5/20~7/20 ③町指定の祭り、お囃子団体に交付金を交付する		①自治会長会議で世間遺産認定について説明（5/18）・世間遺産申請上期分の受付を開始（5/20）・広報活動として、広報、おしらせ版、HP、自治会回覧等で告知 ③文化財振興交付金の交付（28件）	
	6月			①世間遺産申請受付中	
	7月			①世間遺産申請件数12件、世間遺産の下見（7/22.5名）	
	8月	①第2回実行委員会の開催（申請場所の下見、審査会の開催、広報での紹介）、環境整備補助金事務の遂行		①内部打合せ（4名）第2回実行委員会（8/10世間遺産認定審査、12名）	
	9月			①内部打合せ（4名）第3回実行委員会（9/12 世間遺産認定式、環境整備補助金について 10名）・認定証の交付式の開催（9/16 10団体出席）	
	10月			①ましこ世間遺産認定結果を広報で周知	
	11月	①下期申請受付期間12/1~1/31、第3回実行委員会の開催（活用に向けての検討）、環境整備補助金事務の遂行		①世間遺産下期分の募集案内を町広報誌に掲載依頼（12月号）	
	12月			①世間遺産下期分の募集を開始（12/1）、自治会長会議で上期分の認定内容と、下期分の募集について説明（12/13） ・環境整備補助金交付（1件）	
	1月			①世間遺産下期分を募集していることを、再度自治会長会議で周知（1/25） ・世間遺産についてNHKで放映（1/16,17） ・世間遺産案内看板の製作を開始	
	2月	①第4回実行委員会の開催（申請場所の下見、審査会の開催、広報での紹介）、環境整備補助金事務の遂行		①世間遺産現地調査（2/3）、認定審査（2/15）、認定式（2/24 9件） HPに上期分の紹介をUP（2/14）	
	3月			①世間遺産下期分の紹介とHPの紹介（下野新聞 3/20）、世間遺産の看板を作成し、認定団体に設置についての案内通知を送付（3/20） ・環境整備補助金（3件）	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①他課の補助金との住み分けを整理し、ふさわしい補助金の案内をできるようにする。	①世間遺産認定証の様式の検討
第2四半期	①ましこ世間遺産のHP掲載内容の検討、及び現地案内板について検討が必要。	①ましこ世間遺産のHP掲載内容の検討、及び現地案内板について検討が必要。下期分募集の広報を徹底する。
第3四半期	①町HPに認定した世間遺産の紹介について掲載できるようにするとともに、世間遺産案内看板の作成についても検討する。(総務課撮影映像との兼ね合いについて検討が必要)	①早急に町HPに掲載と案内看板の設置ができるようにする。
第4四半期	①世間遺産の認知度を高めるためHPや、広報を活用し広めていく必要がある。	①世間遺産の看板をスムーズに設置できるように、認定団体と連絡を密にしていく。30年度の中請募集について、実行委員会に諮りスムーズに進めていけるようにする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①実行委員会には、3課（生涯学習、企画、商工観光）で出席し連絡を密にし、共通理解を図っている。
	第2 四半期	②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	世間遺産について、今年度は当初目標としていた20件をクリアできた。広報活動の効果や物珍しさも相まって申請してくれる団体も多く、順調に浸透してきたと思われる。 また、世間遺産の看板については、最小限の経費でPR効果が期待できるよう配慮した。今後も継続していきたい。
	総括（第4 四半期も含む）	②意見・提言 世間遺産について、順調に浸透・推進されていると推測する。また、認定遺産の看板については、職員の手作りであるが味わいがあり、経費をかけない考え方や遺産に対する職員の思いが伝わる。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	ましこのランドスケープデザインの作成	進捗状況	100%		
KPI	ランドスケープデザインの作成	本年度目標値	—	現状値	未実施
KPI	(成果代用指数) 町道の改良率	本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			①②補助事業交付申請ヒアリング(4/19)、小貝川水防連絡会出席(4/28) ③景観条例制定の推進のための情報収集(4/13)	
	5月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全・安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりをめざすため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザイン作成のための情報収集。		①②県道益子公園線の整備について真岡土木事務所と打合せ(5/17) 今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施(5/18) ③景観条例制定の推進のための情報収集(5/16)	
	6月			①②県土整備委員会現地調査実施(6/21)・長堤沢砂防事業(田野小)説明会出席(6/29)・町道6号道路改良、6号、7号、45号舗装工事業者決定・百目鬼川放水路整備打合せ(6/16) ③ランドスケープデザイン作成のための情報収集(6/15)	
	7月			①②百目鬼川整備説明会(7/14)、八溝地域治水砂防期成同盟会総会及び国会議員への要望活動出席(7/6) ②7月26日耐震診断ローラー作戦を実施、県職員1名の協力を得て、20戸を訪問し、説明あるいはチラシ配布により住宅の耐震診断等の必要性を周知した。 ③県主催の景観行政担当者研修会への参加(7/12)那須烏山市中心部、軽井沢町グランドデザイン視察(7/20)	
	8月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全・安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりをめざすため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集及び適正な屋外広告物の取り扱いに努める。29年度は屋外広告物禁止地域周辺を重点的に計画的な確認作業を進める。ランドスケープデザイン作成のための情報収集。		①②豆田橋設計打合せ(8/7)、百目鬼川放水路説明会出席(8/9)、町道6号舗装工事完了 ③ランドスケープデザイン作成のための情報収集の上、具体的な手法を検討中	
	9月			①②町道45号・7号舗装工事完了、豆田橋設計打合せ(9/28)、益子公園線整備説明会出席(9/28) ③国土交通省主催の景観行政セミナーへの参加(9/7)。屋外広告物の適正な設置管理についてのお知らせを「お知らせ版」29年9月上半期号に掲載した。	
	10月			①②交付金事業ヒアリング、町道7号電柱移転立会(10/13)、洪水・浸水想定区域説明会出席(10/17) ③ランドスケープデザイン作成のための情報収集の上、事業内容、スケジュールの検討	
	11月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全・安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりをめざすため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集及び適正な屋外広告物の取り扱いに努める。29年度は屋外広告物禁止地域周辺を重点的に計画的な確認作業を進める。ランドスケープデザイン作成のための情報収集。		①②道路事業担当者研修会出席(11/10)、治水事業促進全国大会出席(11/20)、百目鬼川放水路説明会出席(11/21)、国土交通省への要望活動(11/27)、豆田橋設計打合せ(11/28)、町道5号舗装修繕工事完了 ③まちなか元気講演会への参加(11/9)まちづくり講演会への参加(11/20)	
	12月			①②道路事業ヒアリング(12/1)、豆田橋河川協議(12/11)、橋梁補修設計打合せ(12/18)、道路メンテナンス会議出席(12/22)、町道6号改良工事完了 ③ランドスケープデザイン作成のための事業内容の検討	
	1月			①②町道70号、73号用地交渉。 ③ランドスケープデザイン作成のための事業内容の検討	
	2月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全・安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりをめざすため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集及び適正な屋外広告物の取り扱いに努める。29年度は屋外広告物禁止地域周辺を重点的に計画的な確認作業を進める。ランドスケープデザイン作成のための情報収集。		①②橋梁補修設計打合せ(2/8)、町道143号用地交渉。豆田橋架替設計打合せ(2/23) ③ランドスケープデザイン作成のための事業内容の検討	
	3月			①②道路メンテナンス会議出席(3/15)、町道7号改良工事完了。町道6号舗装工事完了。田端橋補修工事完了。 ③ランドスケープデザイン作成のための資料の収集	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①②県土整備委員会現地調査を実施し、県道益子公園線の整備について町長から直接要望を行った。 町道6号道路改良工事及び舗装工事を発注したので、適正に監理監督する。 ③景観条例制定の推進のための情報収集、課題の把握に努めた (7/4) ランドスケープデザインは作成することが目標なので当面は成果代用指数として町道の改良率を目標とする	①②百目鬼川放水路整備については、真岡土木事務所だけでは関係地権者との話し合いが難しい部分があるので、町職員も同行して行う。 ③先進地を視察し、景観条例制定の推進、ランドスケープデザイン作成のための課題の把握と解決に努める (7/4)
第2四半期	①②百目鬼川放水路整備説明会に出席。関係者の意向把握に努めた。 ③景観条例制定の推進のための情報収集、課題の把握に努めた。 (7/12) ランドスケープデザイン作成の情報収集に努めた。(7/20)	①②百目鬼川放水路、益子公園線整備については、真岡土木事務所だけでは関係地権者との話し合いが難しい部分があるので、町職員も同行して行う。 ③景観条例制定の推進、ランドスケープデザイン作成の課題の把握と解決に努める。
第3四半期	①②百目鬼川放水路整備説明会に参加し、関係地権者の意向を確認することができた。豆田橋架替工事について、河川管理者(真岡土木事務所)と協議を行い設計する上での留意点を確認した。 ③景観条例制定の推進のための情報収集、課題の把握に努めた。 (11/9) ランドスケープデザイン作成の事業内容の精査、課題の把握に努めた。	①②町道6号の改良工事が完了したので、引き続き舗装工事を実施する。 ③景観条例制定の推進、ランドスケープデザイン作成の課題の把握と解決に努める。
第4四半期	①②道路改良事業については、予定した工事を実施し、安全性・走行性の向上が図られた。 石塚橋橋梁補修工事については、年度末の国の補正予算であったが対応することができた。線越となるが橋梁の安全性を高める工事であるため、今後進めていく。 ③H30に実施するランドスケープデザイン作成業務の事業内容とスケジュールを作成した。	①②新規改良路線調査検討を行い、改良の必要な路線を選定し、計画を立てていく。また実施予定の道路改良、橋梁の架替等の工事を速やかに実施し、早期完成に努める。県道整備や治水事業については、真岡土木事務所だけでは関係地権者との話し合いが難しい部分があるので、町職員も同行して行う。 ③景観条例制定の推進、ランドスケープデザイン作成のための現状把握、既存資料のまとめ、ワークショップ、解析と地図の作成をする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	③景観条例制定の推進の課題の把握と解決に努め、ランドスケープデザイン作成のための事業内容、スケジュール等を精査していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ランドスケープデザインに関し、年々人口が減少していく点を見据え計画されたい。 50年、100年を見据えたランドスケープデザインについて、どんな未来予想図になるのか期待している。	①②県関係の道路や河川の整備に関しては引き続き要望を行い、事業が進むように協力していく。町道に関しては、工事着手予定の工事を速やかに進めていくとともに、新規路線等の改良計画を立てていく。 ③景観条例制定の推進の課題の把握と解決に努め、ランドスケープデザイン作成のための現地調査、ワークショップ等を実施していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	72.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の支援		②花の会総会にて今年度の活動方針の相談	
	5月			②両会における森林山村多面的機能発揮対策事業申請書の作成支援 ②益子花の会草刈支援 2回	
	6月			②両会における菜種の収穫状況の確認	
	7月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の支援		②亀岡八幡宮里山の会の侵入竹林整備の為の図面作成	
	8月			②両会の次年度活動計画の作成支援 ②亀岡八幡宮里山の会の侵入竹整備事業への申請の支援	
	9月			②森林山村多面的機能発揮対策事業の益子花の会における中間検査のための報告書作成支援 ②森林山村多面的機能発揮対策事業の益子花の会における中間検査立会い	
	10月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の支援		②亀岡八幡宮里山の会の多面的事業中間検査における指摘事項への対応（図面作成支援）	
	11月			②亀岡八幡宮里山の会の活動状況（現地）確認	
	12月			②益子花の会打合せへの参加 ②亀岡八幡宮里山の会の多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援	
	1月			②亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査	
	2月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の支援		②益子花の会の事業完了確認検査	
	3月			②次年度事業の実施の打ち合わせ	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会については亀岡八幡宮内の古墳群が会員の熱心な草刈、植栽、生育活動等により毎年美しく整備されている。両会とも今後も様々な取組を計画しており、引き続き活動を支援できるよう両会との情報交換をして親密な関係性を形成してゆくことが重要。	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるよう資料作成の支援や、みどり推進機構との連絡調整をする。また、両会と、今後の活動にあたっての問題点、改善点について意見交換をして持続的な活動の支援をする。
第2四半期	②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその地区の活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたって、従来から交付をうけていた森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるようみどり推進機構との連絡調整をする。また、今後の活動にあたっての課題点・改善点について意見交換及び情報交換をする。
第3四半期	②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、従来から交付をうけていた森林・山村多面的機能発揮対策交付金を有効に活用し、みどり推進事業との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をする。
第4四半期	②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、みどり推進機構との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、会員の高齢化等が懸念されるが、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をしていく。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	益子町の観光のスポットのひとつとなるように支援していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課連携して益子町の観光のスポットのひとつとなるように支援していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	72.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。	②4/6大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	5月		②5/2大郷戸ダム親水公園の見回り、点検 ②大郷戸ダム親水公園の草刈り		
	6月		②6/16大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	7月	②大郷戸ダム親水公園の草刈りの実施。	②7/10大郷戸ダム親水公園の見回り、点検 ②7月末大郷戸ダム親水公園の草刈り		
	8月		未実施		
	9月		②9/5大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	10月	②大郷戸ダム親水公園の見回り	未実施		
	11月		未実施		
	12月		②12/13大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	1月	②大郷戸ダム親水公園の見回り	②大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	2月		②大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		
	3月		②大郷戸ダム親水公園の見回り、点検		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。	②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。
第2四半期	②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。	②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。
第3四半期	②利用者が少ないため、魅力ある公園作りが必要である。	②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。
第4四半期	②定期的な見回りを行うことで事故等がおきず安全に利用していただいた。	②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行うとともに魅力ある公園整備を行う。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	実施計画のとおり事業を継続する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 大郷戸ダムができたころは、育成会などで利用した記憶がある。自然豊かなところで、歴史や民話とも俯瞰関連することから、農業と観光との連携という観点から、ハイキングや自転車のコースとして再発信してはいかかが。	実施計画のとおり事業を継続する。 観光商工課と連携をとりながら、ハイキングや自転車コースの検討を行う。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	72.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			②円道寺池周辺整備団体「益子花の会」総会。4/17。	
	5月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。		④栃木県県東環境森林事務所と施設整備について協議。5/10。	
	6月				
	7月				
	8月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		④栃木県県東環境森林事務所と益子の森施設整備について協議。8/8。	
	9月			④栃木県県東環境森林事務所と益子の森施設整備について協議。9/7。	
	10月				
	11月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		④栃木県県東環境森林事務所と益子の森施設整備について協議。11/8。	
	12月			④栃木県県東環境森林事務所（管理業者）と益子の森施設整備について協議。12/5。	
	1月				
	2月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	3月			④栃木県県東環境森林事務所と益子の森施設整備について協議。3/22。	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	②整備団体及び関係各課とルート検討について調整必要。 ④県東担当者と現地確認。	②各地域の周辺整備への協力。トレッキングコースの検討。 ④施設整備について協議。
第2 四半期	④県東担当者と必要施設の研究。	④県事業の施設整備計画申請について協議。
第3 四半期	④県東担当者と必要施設の検討・研究。	④県事業の施設整備計画について継続協議。
第4 四半期	④県東担当者と整備計画のスケジュールについて協議することが出来た。	④施設整備について、遊具の具体的な組合せなどを協議する。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	関係各課及び団体と連携し、事業の推進を図る。
	第4四半期も含む		

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	72.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間を過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。		①関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備内容検討、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（4/25） ⑤補助事業交付申請ヒアリング（4/19）	
	5月			①関係機関の真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備内容検討、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（5/23） ⑤県道益子公園線の整備について真岡土木事務所打合せ（5/17）、今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施（5/18）	
	6月			①県に土地区画整理法（事業認可に関する事務）のH30権限移譲希望調書を提出した（6/2）関係機関の栃木県都市計画課、真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備内容検討、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（6/15） ⑤町道284号西浦線歩道設置工事説明会実施（6/13）、県土整備委員会現地調査実施（6/21）、町道4号栗崎道祖土線の工事実施に伴い関係地権者に説明を行った。	
	7月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間を過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。		①関係機関の栃木県都市計画課、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（7/10） ③栃木県選出国会議員への要望活動（7/11）、国土交通省への要望活動参加（7/14）、町道4号道路改良工事開始	
	8月			①関係機関の栃木県都市計画課、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（8/17） ⑤町道4号用地交渉（8/22）、国道121号改良促進期成同盟会幹事会出席（8/25）、「とちぎの道」道路の現場検証実施	
	9月			①関係機関の栃木県都市計画課、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（9/12、9/25） 関係機関の真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備について、一の沢公民館で地元説明会を実施した。 ⑤町道4号用地交渉（9/1、6、12）	
	10月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間を過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。		①「役場周辺地区土地区画整理事業」の地権者説明会を実施した。（10/25） ③安全・安心のまちづくり県民大会出席（10/2）、交付金事業ヒアリング（10/4）、町道284号工事打合せ（10/5、13）、町道4号交差点協議（10/18）	
	11月			①「役場周辺地区土地区画性事業」の説明会（10/25）に来られなかった地権者宅を訪問し、事業内容を説明した。 ⑤町道284号工事打合せ（11/8）、道路事業担当者研修会出席（11/10）、国土交通省への要望活動（11/27）	
	12月			①関係機関の栃木県都市計画課、「役場周辺地区土地区画整理事業」の打合せを実施した。（12/11） ⑤道路事業ヒアリング（12/1）、通学路安全対策協議会出席（12/21）、道路メンテナンス会議出席（12/22）	
	1月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間を過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺地区土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。		①「役場周辺地区土地区画性事業」の事業内容の検討。 ③町道4号その1工事完了。町道4号警察との交差点協議。（1/24） 益子公園線整備打合せ（1/29）	
	2月			①「役場周辺地区土地区画性事業」の地権者と高根沢町へ土地区画整理事業先進地研修を実施した。（2/20）関係機関の栃木県都市計画課、都市整備課、真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備内容検討の打合せを実施した。（2/5）	
	3月			①土地区画整理法の権限移譲に関する打合せを実施した。（3/20） 都市計画道路に関する交通量調査を実施した。（2/1）関係機関の真岡土木事務所と都市計画道路3・5・2益子公園通り線の整備について、一の沢公民館で地元説明会を実施した。（3/23）	

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1四半期	①「役場周辺土地区画整理事業」の事業手法について、県との協議の中で、課題が見つかった。その課題解決のために、時間を要する(6/15) ⑤町道4号栗崎道祖土線歩道設置工事の業者が決定したので、適正に監理監督をする。また、まだ地権者の同意が得られていない部分があるので、早期に契約できるように、引き続き契約交渉を進める。	①今後も引き続き、区画整理事業手法について、県との協議を進め、課題解決に努める。 ⑤町道284号西浦線歩道設置工事については、下水道工事と重なることから発注時期の調整が必要となる。
第2四半期	①「役場周辺土地区画整理事業」の事業手法について、県との協議の中で、地元の意向を確認すること。(9/25) ⑤町道4号栗崎道祖土線については、地権者の同意を得ることができた。	①「役場周辺土地区画整理事業」の事業手法について、地権者へ説明会を実施する。(10/25) ⑤町道4号栗崎道祖土線については、用地交渉がまとまったので物件等の移動について早期に実施できるよう調整する。 町道284号西浦線については、下水道工事との調整を図りながら工事を進めていく。 「とちぎの道」道路の現場検証で出された意見等を、今後の国県等への要望活動に活かしていく。
第3四半期	①「役場周辺土地区画整理事業」の事業内容について、地権者の理解を得ること。 ⑤道路事業担当者研修会に参加し、県内各市町の実況等について意見交換を行った。通学路安全対策協議会に出席し危険箇所の確認を行った。	①「役場周辺土地区画整理事業」の事業内容について、地権者の理解を得るために視察研修を実施する。(2/20) ⑤通学路安全対策協議会で出された意見等を今後の整備計画の参考にする。
第4四半期	①先進地研修を実施したことにより、柔軟な対応ができる組合施行では関係者の土地区画整理事業への理解を深めて合意形成を図ることが重要だと分かった。交通量調査の結果をもとに、H30に実施する都市計画道路のあり方に関する調査内容とスケジュールを作成した。 ⑤町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線について、占用物件の移転等に時間を要したため繰越になってしまった。	①「役場周辺土地区画整理事業」の合意形成を図るため、事業区域設定、整備手法及び整備主体等についての勉強会及び説明会を開催する。益子町中心部の都市計画道路網の検討案を作成、比較検討し、都市計画道路の変更及び廃止手続きを進める。 ⑤町道4号・284号については早期完了に努める。また、新規改良路線について調査検討を行い、必要な路線の選定、計画を立てていく。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①役場周辺地区土地区画整理事業の先進地視察、勉強会を開催し、地権者、関係者の事業への理解を深めていく。 ③町道4号栗崎道祖土線については、用地交渉がまとまったので物件等の移動について早期に実施できるよう調整する。 町道284号西浦線については、下水道工事との調整を図りながら工事を進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	①役場周辺地区土地区画整理事業の勉強会、説明会を開催し、地権者、関係者の事業の理解を深めていく。 ③繰越事業となった町道4号・284号については早期完了に勤める。また、新規改良路線の選定、計画を立てていく。
	総括（第4四半期も含む）		

課局名		生涯学習課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	72.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主 な 取 組 内 容	4月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。			
	5月		②小宅古墳の号墳のプレートにニスを塗り腐食防止を図った。 (5/24)		
	6月		②小宅古墳群菜種の刈り取り作業の手伝い（6/9） 亀岡八幡宮氏子青年会へ古墳群清掃の賃金の支給		
	7月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。			
	8月				
	9月				
	10月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。	②亀岡八幡宮氏子青年会へ古墳群清掃の賃金の支給		
	11月		②文化庁の補助金を活用してトイレ整備が図れるよう要望書を提出 (11/20)		
	12月				
	1月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。	②文化庁補助金のヒアリングに出席（1/10）		
	2月				
	3月		②文化庁の補助金の結果について、まだ届いていないことを伝えて いる。（3/30採択通知有）4月上旬に地元の方に連絡。		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	②小宅古墳群里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請に出来るだけ対応するようにする。	②連絡を密に取り合い、連携して実施する。
第2四半期		②地元の方と連絡を密に取り合い、連携して実施する。
第3四半期	②文化庁の補助金が採択になった場合に、迅速に処理ができるよう準備を始める。	②文化庁の補助金が採択になった場合に、迅速に処理ができるよう準備を始める。
第4四半期	②地元の方と連絡を密に取り合い、連携して実施する。	②文化庁の補助金が採択、地元の方と連携し迅速に処理ができるようにする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 実施計画に沿い各課連携を図られ実行されたい。	②地元の方と連絡を密に取り合い、連携して実施する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 小宅古墳群のトイレ整備について、町の迅速な対応について地元から評価されていることから、今後も地元団体と連携し推進されたい。	亀岡八幡宮駐車場に設置する公衆用トイレについては、今後も随時地元の方と連絡を取り合い、できる限り要望に沿えるよう努力する。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	魅力あるブランドイメージづくり		
施策	町のブランドイメージの確立	進捗状況	100%		
KPI	地域ブランド調査 魅力度市区町村ランキング	本年度目標値	300位	現状値	486位
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月			③おもてなし補助金（陶器市巡回バス）。4/28。 ③おもてなし補助金（陶器市直行バス）。4/28。	
	5月	③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		④英国事業日程調整。9/17～9/25。	
	6月			③第100回陶器市運営委員会。6/1。 ③第100回陶器市実行委員会打合せ。6/9。 ③おもてなし補助金（旬夏祭2017）。6/20。 ③おもてなし補助金（夜市2017）。6/22。 ④英国プロモーション事業について契約。6/21。	
	7月				
	8月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（英国）の実施。		③第100回陶器市運営委員会。8/1、8/3、8/8、8/10、8/23、8/30。 ③第100回陶器市委員会打合せ。8/21。 ③おもてなし補助金（さんぽ市）。8/31。	
	9月			③第100回陶器市運営委員会。9/11、9/25。 ③第100回陶器市委員会打合せ。8/21。 ③おもてなし補助金（さんぽ市）。8/31。 ④英国プロモーション事業実施。9/17～9/25。	
	10月			③第100回陶器市運営委員会。10/5、10/11。 ③第100回陶器市実行委員会。10/12。 ③おもてなし補助金（トレラン）。10/26。	
	11月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（台湾）の実施。		③第100回陶器市。11/2～11/6。 ③第100回陶器市運営委員会反省会。11/27。 ③おもてなし補助金（新そば祭り）。11/9。 ③おもてなし補助金（ポターリング）。11/9。 ④台湾プロモーション事業実施。11/15～11/17。	
	12月			③おもてなし補助金（登り窯まつり）。12/18。	
	1月			③おもてなし補助金（益子の雛めぐり）。1/22 ③おもてなし補助金（DC誘客事業）。1/31	
	2月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		③おもてなし補助金（益子の魅力体験）。2/2	
	3月				

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	③陶器市開催に向け各運営チームごとに内容検討。当初スケジュールより遅れ気味。 ③補助金の活用によりイベント開催が可能となる。 ④委託会社や英国日本大使館と連絡を密に意思疎通が必要。	①②スケジュール、要綱等の検討。 ③各運営チームごとに内容を調整し、支援する。 ③適切な補助金の執行管理。 ④英国プロモーションについて内容協議・検討
第2 四半期	③陶器市開催に向け各運営チームごとに内容検討・取り纏め。 ③補助金の活用によりイベント開催が可能となる。 ④英国日本大使館・セントアイヴス訪問。レセプション及び誘客促進事業ともに好評であった。	①②スケジュール、要綱等の検討。 ③各運営チームごとに内容を調整し、支援する。 ③適切な補助金の執行管理。 ④今後の英国交流事業について内容検討。
第3 四半期	③陶器市の開催に向け各運営チームごとに内容検討・取り纏め。第100回陶器市開催。11/2~11/6。 ③おもてなし補助金の活用によりイベント開催が可能となる。 ④台湾の訪問。展示会及び誘客促進事業ともに好評であった。11/15~11/17。	③次回以降の陶器市について内容検討。 ③適切な補助金の執行管理。 ④今後の交流事業について検討。
第4 四半期	③おもてなし補助金の活用により充実したイベントが開催された。また、開催回数を重ねるイベントが多く補助金の効果が見られる。	①②戦略会議の中で、ブランド戦略会議・ビジュアルアイデンティティについて協議を進める。 ③おもてなし補助金の周知をうながす。適切な補助金の執行管理。 ④今年度はイギリス、台湾へのトップセールスを実施し、現地では好評であったので、次年度も海外へのトップセールスを継続し益子町としてのブランド、知名度を上げるようにする。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上 半 期	第1 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	関係各課及び関係団体と連携し、実施事業やPR活動の充実・推進を図る。
	第2 四 半 期	②意見・提言 KPIについて、ランキングの順位が上がっただけで事業が成功したと思うのではなく、関連施策等を含め、各事業の個別の成果を見据え着実に実施されたい。	
総 括 （ 下 半 期 も 含 む ）	第3 四 半 期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	栃木県庁の観光関連事業課に向けて、ポスター等の掲示や益子陶芸美術館の優待券配布等のPRを行っている。（益子焼を含めた観光PR）引き続き、県庁・県民向けにも益子焼に対する認知度・意識を高める取組みを図る。
	総 括 （ 第 4 四 半 期 も 含 む ）	②意見・提言 栃木県庁職員の益子焼に対する認知度・意識が低いと感じる。県民向け情報発信とともに、県庁職員への働きかけ等も必要と考える。	